

平成25年度県立学校経営予算プレゼン特事業レビューシート			
学校名	岡山大安寺中等教育学校		
事業名	「世界に羽ばたく大安寺生育成事業 ―グローバル人材の育成―」		
事業の必要性・テーマ	<p>テーマ グローバル化が進む社会に主体的に参画する意欲と能力を兼ね備えた生徒を育成し、海外研修を中心とした中等教育学校6年間の系統性を重視した特色ある教育の一層の推進を図る。</p> <p>事業の必要性 ・岡山県では、「おかやま夢づくりプラン」が示され、学校教育での「グローバル化の進展に対応できる人材の育成」が求められている。 ・本校では、「知識と体験の融合による人間力の育成」のために、総合的な学習の時間を中心としたDAIANJIプロジェクトを実施し、「グローバル人材の育成」を教育の柱の一つとした学校作りに取り組んでいる。 ・新しい学校作りにおいて、グローバル教育がさまざまな教科や総合的な学習の時間をはじめとする活動の中で、体系的・有機的に取り組みが行われるような仕組みを構築する必要がある。</p>		
事業の概要・進め方	<p>・上記目標達成のための取り組みの中核は3年3月に設定される「海外研修」である。「研修前」、「研修中」そして「研修後」の各段階で教科や総合的な学習の時間をはじめとする活動を行っている。</p> <p>・「研修前」、「研修中」のプログラムは、昨年までの前期課程での三年間の実践により一定の成果をあげた。一方、「研修後」の具体的な取り組みは本年度が初めてである。そのため、本事業では、「研修前」の活動の一層の充実を図ると共に、特に「研修後」の部分に焦点をあて実践する。</p> <p>①2・3年における留学生や大学生との交流 ②グローバル教育成果発表会「羽ばたけ大安寺生」の実施 ③4年生が、海外研修を前にした3年生に対して経験を伝える「教えて先輩」の実施（異学年交流として互いに学び合う機会を持つ。） ④4年生が近隣の小学校へ出向いて自分たちの海外研修で学んだことを紹介、英語指導のサポートする出前講座「お兄さん お姉さん先生プロジェクト」の実施 ⑤前期課程修了論文の執筆</p>		
達成目標	<p>○本校の教育理念「知識と体験の融合」としてのグローバル教育推進体制が確立し、グローバル教育指導計画が完成する。</p> <p>○異年齢交流による活動が充実し、自己有用感や社会人基礎力が育まれる。</p> <p>○生徒一人一人が、地域・国・世界の多様性を認識すると共に、オープンマインドを持ち、様々な違いを認め、肯定的に受け止めることができる。</p> <p>○生徒一人一人が、世界の問題を身近な事柄と結びつけて具体的に考えることができる。</p> <p>○生徒が、自分の学びや意見を効果的に伝えることができる。</p>		
	「海外研修事前指導」 3年生：11月7日に京都外国語大学からオーストラリアへ留学経験を持つ日本人学生2名と、海外からの留学生2名を招いて、講演会および交流会を実施した。オーストラリアでの生活全般や、風習・文化などについて貴重な知識を得ることができた。また、ネイティブとの交流の中で言語活動を行い、自信を得た。 2年生：11月29日、12月1日に岡山大学から8名の留学生を招き、日本文化の紹介を英語で行ったり、また留学生の母国の文化に触れたりすることができた。	事業 達成率	100%

平成25年度県立学校経営予算プレゼン事業レビューシート

実績と成果	<p>「羽ばたけ大安寺生」・・・10月23日実施 岡山市民会館において4年生が海外研修の発表会を行った。第1部成果発表では、海外研修までの事前準備、海外研修での内容説明の後、4名の生徒が自分の体験に基づいて英語でのスピーチを行った。第2部では4年生のパネリスト4名と、岡山大安寺のOBで岡山大学病院長榎野博史先生をスーパーバイザーとしてお招きし、シンポジウムを行った。第3部は、榎野先生の講演会を実施した。参加した本校1年生から4年生は、グローバル人材について多くの観点から考える機会を持つことができ、運営した4年生については自分たちの海外研修での体験に基づいてさらに深く考えることができた。</p>	事業 達成率	90%
	<p>「教えて先輩」・・・10月4日実施 4年生と3年生との交流会を実施した。4年生は、海外研修の内容、海外研修を成功させるために必要な心構えや準備について様々な方法を用いてプレゼンを行った。説明に際しては多くの場合、英語を使用して説明を行った。3年生からは多くの質問が寄せられ、4年生がそれに答える形で進められ、4年生からは多くのアドバイスがあった。3年生からは海外研修での疑問や不安の多くが解消されたという喜びの声が多く、4年生からは自分の体験を振り返り、海外研修の意味や意義についてさらに深く考察することができたという意見が多かった。</p>	事業 達成率	100%
	<p>「お兄さん お姉さん先生プロジェクト」・・・11月22日、12月8日実施 4年生が、11月22日に岡山市立西小学校3年生(7クラス)、12月18日に岡山市立大野小学校6年生(2クラス)を訪問し、出前授業を実施した。内容は、オーストラリアの生活や文化の紹介や英語のレッスンなどであった。小学生からは感謝の文集などをいただき、予想をはるかに越える成功を収めることができた。また参加した4年生からは、海外研修での経験を振り返るよい機会となり、小学生を教えることにより、多くのことを学ぶことができたという感想が多かった。</p>	事業 達成率	90%
	<p>前期課程修了論文・・・4年生が1学期に取り組んだ。入学以来3年間のDAIANJI プロジェクトの総決算として、キャリア教育とグローバル教育双方の観点から振り返りを行い、その経験に基づいて一人一人が後期課程での目標を設定し、また自分の将来のグランドデザインについて深く考察することができた。完成した論文は製本して4年生全ての生徒に配付する。</p>	事業 達成率	90%
	<p>各学年の発達段階に応じた取組を通して、生徒達は着実に力を付けている。特に4年生は、確実に成長しており、この事業を通して海外研修の体験の本質について深く考察することができ、その学びを論理的にまとめ、分かりやすく伝えていく課程で、プレゼンテーション能力・コミュニケーション能力の向上も見られた。事業当日の様子や生徒の感想から、異年齢交流も一定の成果をあげていると感じる。今後、高い志や意識を持って世界に羽ばたく生徒が誕生するものと期待している。現在、3年生は海外研修を目前に控え、最終の準備段階に入っている。また「知識と体験の融合」の理念の下、本校のグローバル教育指導計画も完成間近となり、今後改良を加えながら次年度以降の体制を整えていきたいと考えている。</p>	総合 達成率	90%

平成25年度県立学校経営予算プレゼン特事業レビューシート

今後の課題	<p>・「お兄さん お姉さん先生プロジェクト」は小学校側からの反響が大きく、また、本校生徒からの継続の要望も大きい。今後は訪問する小学校の数を増やし、また偏らないようにローテーションを組んで訪問する方針であるが、小学校との日程の調整や生徒の移動方法など解決すべき課題が多く残っている。</p> <p>・本年度の岡山市民会館での成果発表会は、学校関係者や一般市民の方など、外部からの参加者が少なかった。この事業は今後、本校の体育館へ場所を移して継続して実施する予定であるが、外部からの参加や情報発信に関して改善すべき課題が残っている。</p>	
学校自己評価	5段階評価	5 ・ ④ ・ 3 ・ 2 ・ 1
	次年度以降の継続性	<p>海外研修は今後継続して実施する予定で、4期生まで時期や内容が決定している。したがって、2・3年における留学生や大学生との交流をはじめ、4年生が今年度行った事業は全て来年度以降も引き継がれることになる。ただし、成果発表会「羽ばたけ大安寺生」は規模を縮小して、本校体育館等で行う予定である。それぞれの内容に関しては、生徒の実態に合わせて検討し、新しい取組も含めて改善を加えていきたいと考えている。一連の活動により、今後、生徒たちの中には世界を意識した進路選択者ができるものと期待している。</p>
主管課評価	5段階評価	5 ・ 4 ・ ③ ・ 2 ・ 1
	見直しの余地改善提案等	<p>グローバル人材の育成に向けて、海外研修を中心に様々な体験活動を通して事前、事後の指導を行うモデルを示すことができてきている。研修前には留学生との交流により自国や他国の文化の理解を深め、研修後には、発表会の開催、3年生や小学生に海外研修で学んだことを積極的に発信するなどの経験することにより、異なる文化をもつ人々を理解すること、自分の考えや気持ちを伝えるコミュニケーション能力を身に付けることの重要性を実感させることができてきている。特に、海外研修を自分の中だけで完結させるのではなく、周りの人たちと共有することが大切であると生徒たち自身が感じていることが、非常に大きな変容である。</p> <p>今回は、在籍している生徒のいる4年生までの実践であったが、今後、6年間を見通した系統性のあるプログラムを開発し、グローバル人材育成の岡山県のモデルとして、実践の成果を普及・発信していくことを期待する。</p>
委員評価	5段階評価	5 ・ ④ ・ 3 ・ 2 ・ 1
	指摘・指導・助言	<p>当初の計画どおりに事業を実施し、計画どおりの成果を上げた点では、見込みどおりであると言える。</p> <p>しかし、グローバル人材育成という難しいテーマに対し、中等教育学校としての特性を生かした初めての取組として、その一つの方向性を見いだすきっかけとなったと考えられる点、また、非常に高いレベルの事業であるにもかかわらず、当初の計画どおりの成果を上げている点は、高く評価したい。</p> <p>また、発表や質疑への受け答え等の状況から、生徒のコミュニケーション能力は十分伸びており、彼らが持つ「見識」にも強い可能性が感じられた。</p> <p>さらに、現4年生の経験を踏まえて翌年度に新たな試行をするなど、PDCAサイクルも機能しており、今後のカリキュラムに生かすことができることから、見込みを上回るものであると評価できる。</p> <p>今後は、このプロジェクトのさらなる発展に期待するとともに、この取組の指導過程も成果と併せて、他の学校等へ積極的に発信していただくことを望みたい。</p>